

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
商業観光課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染拡大の状況下においても、プロバスケットボールチーム「さいたまブロンコス」によることも向けキャラバンを実施することができ、選手との触れ合いを通じスポーツの楽しさを伝えることができたため。商店街事業継続給付金については、商店街会費免除や感染対策用品の配布、加盟店舗が行う感染症対策に対する補助金の交付など、商店街において有効的に活用された。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	3. すべての人に健康と福祉を		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	①スポーツイベントへの参加人数	市内プロスポーツチームとの協働事業の参加人数	所沢元気回復プロジェクトとしての貢献度合いを数値化できる指標とした。なお、この事業は令和2年度より開始したので、目標値の設定は令和3年度からとした。				令和2年度から新規事業として取り組んだ。				
	根拠法令	17,720千円 (R3に4,292千円を繰越)	13,429千円	②商店街事業継続給付金の交付件数		R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	寄附金を活用して行う所沢元気回復プロジェクト事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③	実績					令和3年度も引き続き同事業を実施予定。より多くの子ども達にスポーツの楽しさ、バスケットボールの楽しさ、「さいたまブロンコス」を応援する機運を高めるための方法を検討していく。				
	期間	①商店街事業継続給付金の給付 ②市内プロスポーツチーム等と協働したスポーツイベントの開催	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①267名 ②37件 ③	R2目標	R2実績				どのように貢献したか				
	R2～		0.23人 1,879千円	0.00人		R3目標					新型コロナウイルスの影響により、自宅での生活を余儀なくされた子ども達の心身の健康に寄与した。				
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	情報紙「ところざわ文化遺産」発行や市ホームページコンテンツ作成などを通じて、文化財情報の魅力的な発信に努めており、目標値も達成している。今後も多くの市民に文化財への興味関心を持っていただくことで文化財保護意識を高めていきたい。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	220千円	3,021千円	①所沢市web文化財保護課所管コンテンツ年間アクセス総数	所沢市web文化財保護課所管コンテンツ年間アクセス総数	所沢市web上の文化財保護課所管コンテンツのアクセス総数は、本市文化財に関する興味関心を示す数値と捉えることもできるため指標とし、前年度よりも上昇することを目標値とした。				情報紙「ところざわ文化遺産」では、新指定候補文化財に関連のある市指定文化財を取り上げるなど、興味関心を喚起する情報提供に努めた。				
	根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、所沢市文化財保護条例	3,380千円	2,874千円	②啓発グッズの頒布数		R1目標	R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析				
	文化財保護普及啓発事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	500000件	489715件				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	期間	文化財の普及啓発を行うことにより、多くの市民に郷土愛や文化財保護意識を醸成することを目的とする。市内の文化財や寺社などを紹介する「所沢文化遺産案内マップ」や文化財調査の成果などを紹介する情報紙「ところざわ文化遺産」の発行、また、市ホームページなど多様な情報発信により、文化財の保護と普及・啓発を図る。また、市の指定文化財を紹介するためのグッズとして、これまでクリアファイル(3種類)を作成し頒布している。	0.60人 4,987千円	0.7人	①518,665件 ②27枚	R2目標	R2実績				どのように貢献したか				
	H26～		0.60人 4,901千円	0.05人		R3目標					所沢市の歴史や文化財の情報を市民等に公開した。				
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	新型コロナウイルス感染症の影響もあり全体の調査件数は例年よりもやや減となったが、調査にあたる職員の健康管理などにも注視しながら、着実に調査を実施し、目標値も達成している。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	34,187千円	22,320千円	①確認調査実施件数	確認調査依頼件数に対する確認調査実施件数	開発等により破壊される前に確認調査によって遺構の有無を判断し、本調査で迅速かつ正確に遺跡に関する記録を行うことが当事業の目的となっているため、確認調査の実施率を指標とし達成率100%を目標値とした。				新型コロナウイルス感染症の中での作業であったが、マスク着用やこまめな休憩、ソーシャルディスタンスなどにも配慮して安全な職場環境に努めた。				
	根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	37,674千円	27,224千円	②発掘調査実施件数		R1目標	R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析				
	埋蔵文化財発掘調査事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	③発掘調査実施面積	実績	100.0%	100.0%							
	期間	開発等により遺跡が破壊される前に、記録保存を行い、後世へ伝えることを目的とする。埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内で開発等が計画された段階で確認調査を実施する。その結果、遺構が発見され、開発等により破壊される可能性がある場合には発掘調査を実施する。発掘調査は、正職員と会年職員等で調査の規模・期間・難易度により適宜チームを編成して行う。	1.29人 10,722千円	1.00人 2.30人	①74件 ②4件 ③4848.89㎡	R2目標	R2実績				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	S51～		1.76人 14,376千円	15.00人		R3目標					開発に伴う確認調査件数や区画整理事業などの大規模開発に伴う調査の増加により、業務量の更なる増加が見込まれる。発掘調査の担当職員は国の方針や県の基準により、考古学の専門知識を有する者でなければならないとされていることから該当する職員の増員等対策を講じる必要がある。				
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和2年度は、個人住宅や農業基盤整備などを原因とした発掘調査がなかったため、調査回数・調査面積は達成できなかった。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	10,629千円	8,924千円	①年報掲載の確認・発掘調査数	発掘調査報告書刊行調査回数	記録した遺跡の情報を報告書として刊行し公開することが当事業の目的となっているため、報告書を刊行した発掘調査回数を指標とし、報告書刊行済の調査報告回数に、現年度刊行予定の報告書掲載発掘調査回数を加えたものを目標値とした。				報告内容などを再検討し、ページ数をやや減らすことにより刊行経費を抑えた。				
	根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	10,364千円	8,768千円	②報告書を刊行した発掘調査件数		R1目標	R1実績			R2目標値が未達成の理由・分析				
	発掘調査報告書等刊行事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	366件	355件				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	期間	報告書の刊行により発掘調査の成果を公開することで、市民をはじめ歴史及び郷土研究への貢献を目的とする。また、年報の刊行により発掘調査や確認調査の成果をいち早く公開することで、市民や開発事業者等に所沢市の地中に刻まれた貴重な文化遺産を周知し、文化財保護意識を啓発することで、開発計画など遺跡の破壊を未然に防止する効果も期待できる。	0.50人 4,156千円	0.25人 5.54人	①90件 ②5件	R2目標	R2実績				どのように貢献したか				
	S51～		0.15人 1,225千円	7.00人		R3目標					発掘調査報告書は専門性を有する職員が執筆するため、担当職員の業務量増加が課題となっている。				

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)			
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	埋蔵文化財は貴重な歴史資料であり、市民共有の財産として将来にわたって保存する意義を理解してもらったためにも、通常の来館者のみならず出張授業や体験学習などの事業を通じて、より多くの市民への情報発信を行っている。今後も様々な公開活用事業を通じて、本市にとって貴重な歴史資料である埋蔵文化財を後世に伝えていくことの必要性を、多くの市民や開発事業者の皆さんに理解していただけるよう努めていきたいと考える。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	どのよう貢献したか				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,437千円	2,230千円	①小中学校対象(学校との連携)事業の参加者数	文化財公開活用事業への参加者数	R1年度目標	R1実績									
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②見学者・事業参加者等の人数			R2実績									
	埋蔵文化財普及公開事業	文化財保護法・所沢市文化財保護条例	1,919千円	1,450千円	③外部貸出資料の利用者等の人数	R1年度目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの人を集める事業は開催できなかったが、遠出できない今こそ地域の文化財への興味関心を抱いていただけるよう、事業手法をさらに検討していく。	普及公開事業により、市民等に所沢市の遺跡の情報を魅力的に公開した。
	事業の目的及び具体的な内容	郷土の歴史や埋蔵文化財保護について普及公開するため、次のような事業を実施する。 ①小中学校を対象とした来館授業・体験学習・出張授業等 ②施設見学 ③体験型イベント「夏休み埋文教室」の開催(土器や勾玉作りの体験) ④最新発掘展示 ⑤外部公共施設等への資料貸出・展示	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2年度目標	R2実績	新型コロナウイルス感染症を起因とした国の緊急事態宣言発出もあり、埋蔵文化財調査センターの一時休館や「埋文まつり」の中止など、人と人が接する機会を減らす必要から来館者数や外部貸出資料の利用者等が減少し、目標値は達成できなかった。							令和2年度は、滝の城跡整備事業の調査報告書を刊行したため、市内遺跡発掘調査事業の報告書を執筆する職員が足りず、目標値を達成できなかったが、専門職しかできない作業の見直しなど、職員分担や全体スケジュールを改めて検討していく必要もあると考える。	報告書執筆を担当する職員は、日中は発掘調査の現場作業に従事しており、刊行作業を行う職員への指示出しなどが遅れがちになることが課題であり、事務の効率化や事務分担等の見直しも検討する。	
	期間	H6~	0.46人	0.40人	①456人	8600人	6584人										
		3,824千円	0.07人	②1722人	8600人	3320人											
		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③1142人	R3年度目標	8600人											
		0.28人	1.00人														
		2,287千円															
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和2年度は、滝の城跡整備事業の調査報告書を刊行したため、市内遺跡発掘調査事業の報告書を執筆する職員が足りず、目標値を達成できなかったが、専門職しかできない作業の見直しなど、職員分担や全体スケジュールを改めて検討していく必要もあると考える。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	どのよう貢献したか				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	12,185千円	11,255千円	①整理作業遺跡件数	発掘調査報告書刊行調査回数	R1目標	R1実績									
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②整理作業遺構件数			R2実績									
	埋蔵文化財遺物整理保存事業	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	12,243千円	10,754千円	③出土遺物の保存処理・化学分析	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	遺物整理保存により、後世への記録作成と市民等に所沢市の遺跡の情報を公開する準備をした。	
	事業の目的及び具体的な内容	遺跡から出土した遺物の整理作業や保存処理を行い、発掘調査報告書に掲載するとともに、実物資料として後世に伝えていくため、次のような作業を行う。 ①遺物の水洗 ②注記 ③接合 ④復元 ⑤着色 ⑥報告書掲載遺物の選出 ⑦実測 ⑧拓本 ⑨保存処理 ⑩科学分析等	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2年度目標	R2実績	令和2年度は、滝の城跡整備事業の調査報告書を刊行したため、市内遺跡発掘調査事業の報告書を刊行できなかったため目標値を達成できなかった。							これまでの発掘調査の成果に一部不足もあることから、今後は、有識者と協議しながら不足した資料を補う発掘調査を行い、調査成果を基にした史跡整備を目指す。		
	期間	S50~	0.28人	0.90人	①19件	366件	355件										
		2,327千円	7.02人	②135件	360件	359件											
		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	③6点	R3目標	370件											
		0.18人	8.00人														
		1,470千円															
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和2年度は、史跡整備の基礎資料となる発掘調査の資料を整理し、これまでの調査成果をまとめた調査報告書を作成・刊行した。発掘調査は実施しなかったため現地説明会開催の予定がなく成果指標の目標値も低く設定している。発掘調査報告書刊行により、これまでの調査箇所不足部分があることが確認できたため、令和3年度は不足箇所の発掘調査を実施し、将来の整備に向けて着実な準備を進めていきたい。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	どのよう貢献したか				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	4,357千円	4,315千円	①史跡整備に伴う発掘調査延べ面積	保存会会員数+現地見学者数(団体見学のみの)+現地説明会参加者数	R1目標	R1実績									
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②現地説明会参加者数			R2実績									
	滝の城跡整備事業	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例 所沢市文化財保護条例	2,876千円	2,414千円	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	発掘調査報告書の刊行によって、市民等にこれまでの発掘調査成果を公開した。	
	事業の目的及び具体的な内容	中世城跡の本質的な価値を見出し、計画性のある長期的な整備を進める事により、郷土の貴重な文化財である「滝の城跡」を後世へ語り伝えていくための事業。主な内容は、①保存管理計画の策定 ②史跡指定地内の遺構確認 ③危険箇所の応急的な修繕 ④中世城跡として適切な保存整備 ⑤整備基本計画に基づいた史跡整備	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①4,142㎡	R2年度目標	R2実績	目標達成済							これまでの発掘調査の成果に一部不足もあることから、今後は、有識者と協議しながら不足した資料を補う発掘調査を行い、調査成果を基にした史跡整備を目指す。		
	期間	H19~	0.69人	0.00人	②実施せず	400人	255人										
		5,735千円	12.00人		50人	79人											
		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		R3目標	100人											
		0.52人	2.00人														
		4,247千円															
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの人を集めるイベントは開催できなかったが、小規模な事業も参加者には好評であり、遠出できない今こそ地域の文化財への興味関心を抱いていただけるよう、事業手法をさらに検討していく。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	どのよう貢献したか				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,187千円	1,861千円	①所沢市web文化財保護課所管コンテンツ年間アクセス総数	文化財に関する市民理解度(文化財保護課所管の施設の見学及び主催事業への参加者数)	R1目標	R1実績									
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②所沢市web文化財保護課所管コンテンツ月別最多掲載数			R2実績									
	文化財公開活用事業	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例、所沢市文化財保護条例	2,313千円	1,696千円	③公開活用事業数	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	文化財の所有者や、伝承する保存会などとの連絡を密にとり、文化財の保存と公開に努めていく。	
	事業の目的及び具体的な内容	文化財の公開や文化財を活用した事業を実施することで、市民等に「ふるさと所沢」への愛着や、文化財を後世に残す意義を伝えるために実施する。主な内容は、①指定文化財等の情報公開 ②指定文化財等の管理 ③展示や講座などの指定文化財等の公開活用事業の開催	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①518,665件	R2年度目標	R2実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの人を集める事業を実施できなかったため、目標値は達成できなかった。							文化財の所有者や、伝承する保存会などとの連絡を密にとり、文化財の保存と公開に努めていく。		
	期間	H18~	0.86人	0.00人	②282件	8700人	7614人										
		7,148千円	0.05人	③5件	8700人	3367人											
		R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合		R3目標	8700人											
		0.72人	0.05人														
		5,881千円															

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1 予算現額	R1 決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	指標とした人工増殖により増加した個体数は目標値を達成することができたが、二枚貝の生育環境の研究など自然復帰に向けた取り組みは進んでいないためB評価とする。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,684千円	2,641千円	①前年度末個体数	埋蔵文化財調査センターにおいて人工増殖により増加した個体数	種の保存のため、飼育総数個体3,000~3,500尾の維持を目標としていることから、当該年度の人工増殖数を指標とした。	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	文化財保護法、所沢市文化財保護条例、絶滅のおそれのある希少野生動物の種の保存に関する法律	R2 予算現額	R2 決算額(見込み)	②前年度死亡数										
	事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R1 正規職員人件費	R1 その他職員従事割合	③体験学習受入れ件数	R1 目標	R1 実績	R2 目標値が未達成の理由・分析							
	期間	H8~	0.88人	1.00人	実績	1000尾	1727尾	R2 目標値が未達成の理由・分析							
	絶滅危惧種で国指定天然記念物「ミヤコタナゴ」の種の保存と、環境学習等としての活用を図るために実施する。主な内容は、①人工増殖による必要個体数の維持 ②市内小学校等での展示飼育(保護啓発と環境学習) ③中学校での飼育体験	R2 正規職員人件費	R2 その他職員従事割合	①3,129尾	R2 目標	R2 実績	1500尾	1729尾							
0.83人	1.03人	②845尾	R3 目標	1500尾											
6,779千円		③0件													
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1 予算現額	R1 決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染症の影響により、2月に開催を予定していた「伝統芸能発表会」は開催できなかったが、過去に開催した映像を再編集して市webで公開するなど、市民等への民俗芸能の公開に努めた。※「伝統芸能発表会」は令和3年度に改めて開催予定。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	104千円	110千円	①伝統芸能発表会の鑑賞者数(出演者+来場者数)	郷土の民俗芸能の披露日数	市内に伝承されている民俗芸能の市民への周知と継承、その保存団体の存続と発展を目的としているため、披露される日数を指標としている。	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、所沢市文化財保護条例	R2 予算現額	R2 決算額(見込み)	②重松流祭囃子保存会の活動参加者数(重松流祭囃子競技会の出演者+来場者数)										
	事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R1 正規職員人件費	R1 その他職員従事割合	③岩崎獅子舞保存会の活動参加者数(奉納岩崎獅子舞の出演者+来場者数)	R1 目標	R1 実績	R2 目標値が未達成の理由・分析							
	期間	H5~	0.58人	0.00人	実績	15日	9日	R2 目標値が未達成の理由・分析							
	市内に伝承されている民俗芸能を広く市民に周知し、その技能や道具類を後世へ護り伝え、郷土の民俗芸能を継承する保存団体の存続と発展を目指す。主な内容は、①伝統芸能発表会の開催(隔年) ②郷土の民俗芸能を継承する保存団体の自主的な活動を支援	R2 正規職員人件費	R2 その他職員従事割合	①0人(実施せず) ※映像視聴数360件	R2 目標	R2 実績	10日	0日							
0.62人	0.02人	②500人	R3 目標	10日											
5,064千円		③200人													
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1 予算現額	R1 決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	市の財政状況などもあり、復元には解決すべき課題が山積しているが、所沢の町場の景観を伝える貴重な文化財を将来最大限に活用するため、引き続き適正な状態で保存するよう努めている。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,323千円	936千円	①保管環境の整備	歴史的建造物(保管部材)の復元	建造物3棟の部材を保管しており、3棟の復元を目標地とする。	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、所沢市文化財保護条例	R2 予算現額	R2 決算額(見込み)	②くん蒸処理										
	事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R1 正規職員人件費	R1 その他職員従事割合	実績	R1 目標	R1 実績	R2 目標値が未達成の理由・分析							
	期間	H16~	0.15人	0.00人	①8回	3棟	0棟	R2 目標値が未達成の理由・分析							
	盛期の所沢の町場の景観を伝える貴重な文化財であり、町場の暮らしを復元できる素材として郷土学習やまちづくりに活用するために実施する。主な内容は、①解体した部材の適正な保存管理(殺虫・殺菌のための燻蒸処理) ②保存環境の整備(保管庫の清掃・風通し、敷地内の除草・落ち葉掃き・枝打ちなど) ③歴史的建造物(保管部材)の復元・活用計画の策定④歴史的建造物(保管部材)の復元と活用	R2 正規職員人件費	R2 その他職員従事割合	①8回	R2 目標	R2 実績	3棟	0棟							
0.20人	0.00人	②0回(隔年実施)	R3 目標												
1,634千円															
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1 予算現額	R1 決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は達成しているが、指定文化財の種類により所有者(管理者)が負担する経費が増大している。所有者(管理者)とは平時から連絡を密にし、補助金の適正な執行とともに、財政的な援助以外にも職員ができる支援はないか、指定文化財の維持管理に努める必要がある。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,706千円	2,371千円	①管理費補助件数	所有者(管理者)の申請件数と交付件数の率	指定文化財の管理に必要な経費を少しでも市で支援(補助金交付)することは、貴重な指定文化財をより良好な状態で保存・管理することにつながるため指標とした。	R2目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	所沢市文化財保護条例、所沢市文化財等保存事業費補助金等交付要綱	R2 予算現額	R2 決算額(見込み)	②修理等補助件数										
	事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R1 正規職員人件費	R1 その他職員従事割合	実績	R1 目標	R1 実績	R2 目標値が未達成の理由・分析							
	期間	S56~	0.22人	0.00人	①61件	100%	100%	R2 目標値が未達成の理由・分析							
	市内に所在する指定文化財を保存・管理し、これを良好な状態で後世に継承するために実施する。主な内容は、①市指定文化財の所有(管理)者が補助金の交付申請をする ②文化財等保存事業費補助金等交付要綱に基づき交付 ③実績報告により管理状況等を確認する	R2 正規職員人件費	R2 その他職員従事割合	①61件	R2 目標	R2 実績	100%	100%							
0.22人	0.05人	②2件	R3 目標	100%											
1,797千円															

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	埋蔵文化財調査センター設立から27年が経過し、施設の老朽化による不具合が増加している。突発的な不具合が生じることも多く、計画的な修繕は困難な状況であるが、必要箇所を見極めて予算の範囲内での修繕に努める。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	8,447千円	7,676千円	①利用者数	年間の施設修繕件数	R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析	埋蔵文化財調査センターを適切に管理し、市民等に発掘調査で得られた遺跡の情報を公開する。
	根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	9,333千円	8,409千円	②年間開館日			R1実績							
	事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	当初予定の2件に加え、緊急修繕を2件実施し、計4件の修繕を実施した。過去3年間の平均値を目標値としているため達成はしていないが、概ね達成と評価できる。							
	来館者等の安全管理とともに、発掘調査による出土遺物など収蔵資料を永年にわたって整理・保存し、埋蔵文化財に関する各種情報を後世に伝えるとともに広く提供する施設として、安全かつ適正に管理するために、施設管理業務委託等による各種点検を着実に実施し、修繕箇所を見極めて必要な修繕を実施する。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①2,002人	R2目標	R2実績	6件								
	期間	H6～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②207日	R3目標	R3実績	5件							
			0.75人	0.00人				6件							
		6,234千円	0.00人				4件								
		0.60人	0.05人				4件								
		4,901千円													
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	新型コロナウイルス感染症の影響により指標である来館者数は減っているが、一般来館者は前年度より増えている月もあった。地域に伝わる民俗資料を保存・管理し、後世へ引き継ぐための施設として、今後も引き続きPRしていくとともに、小中学校の郷土学習等の活用の充実に努める。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,575千円	3,304千円	①年間開館日数	来館者数	R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析	資料の配置替えやキャプションの修正を行った。山口民俗資料館では老朽化した照明を修繕しLED化した。
	根拠法令	所沢市民俗資料館条例、所沢市民俗資料館条例施行規則	4,603千円	3,793千円	②来館小中学校数			R1実績							
	事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、年間開館日数の減少や小学校等の団体見学の中止などがあり、目標値を達成できなかった。							
	地域ごとの民俗資料の保存と市民への公開のために、中富・柳瀬・山口の民俗資料館3館を運営している。主な内容は、①民俗資料館の開館業務 ②地域の特色が見られる民具等の展示 ③小中学校の社会科見学や総合学習での活用	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①122日	R2目標	R2実績	1900人								
	期間	S56～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②2校	R3目標	R3実績	1900人							
			0.55人	0.00人				1200人							
		4,572千円	1.05人												
		0.55人	1.05人												
		4,492千円													
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は達成されており、確認調査の見込みより検出された遺構数も少なく発掘調査期間は短縮できたため、各土地区画整理事業のスケジュール等に影響を及ぼすことなく調査を行っている。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	37,991千円	13,495千円	①確認調査面積	確認調査(試掘)面積と記録保存のための発掘調査面積	R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析	新型コロナウイルス感染症の中での調査であり、調査用プレハブを通常よりも広いものにした。併せて、熱中症対策として、休憩回数や周囲に人がいない作業ではマスクを適宜外すなどの対応も実施し、作業員の体調管理には特に配慮した。
	根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	46,578千円	21,599千円	②発掘調査面積			R1実績							
	事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	目標達成済							
	市内5箇所の土地区画整理事業地内の埋蔵文化財を保護するために実施する。主な内容は、①公衆用道路等の確認調査(試掘)を行い遺構・遺物の有無を確認 ②確認調査(試掘)で検出された遺構の記録保存のための発掘調査の実施 ③発掘調査で出土した遺物・遺構の記録を整理して報告書を刊行	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①47,734.31㎡	R2目標	R2実績	48,500㎡								
	期間	H29～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②3,577㎡	R3目標	R3実績	51,311.31㎡							
			0.95人	0.10人											
		7,896千円	16.20人												
		1.52人	40.00人												
		12,415千円													
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	指標の目標値を達成しており、資料の収集・整理を進め、利用にも供することができたと評価する。また、資料の代替物についても計画的に進めることができている。	R2年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	7,496千円	7,210千円	①マイクロフィルムに撮影した古文書のコマ数	資料特別利用許可申請件数 ※特別利用とは、資料の貸出や出版物等への掲載、展示、放映などでの利用のこと	R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析	資料の管理体制を強化するため、文化財保護課とふるさと研究グループの統合に向けた準備を進めた。
	根拠法令	所沢市生涯学習推進センター条例	3,612千円	3,414千円	②資料特別利用許可申請件数			R1実績							
	事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績	目標達成済							
	まちづくりの資源として資料(ふるさと研究資料)を収集し、積極的に活用できるよう整理するとともに、資料の劣化と亡失を防ぐ手立てを構築することを目的とする。これまでに収集した資料は、活用できるように把握・整理を進める。また、資料(民具など)の受け入れを可能な範囲で行う。併せて、資料の代替物(マイクロフィルム・デジタルデータDVD)作成に取り組む。	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	①7,500コマ	R2目標	R2実績	40件								
	期間	S63～	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	②40件	R3目標	R3実績	40件							
			1.36人	1.65人											
		11,304千円	0.00人												
		0.45人	1.05人												
		3,676千円													

